社協だより 63号

発　行　丸亀市社会福祉協議会
電　話　２２－５７００
ＦＡＸ　２３－８１１０
ホームページ
http://www.marugame-shakyo.or.jp/

参加報告　丸亀市コミュニティ会長・連合自治会長 県外研修

“ひとりぼっちをつくらない”　地域づくりを考える

1月12日（土）・13日（日）、丸亀市コミュニティ会長・連合自治会長県外研修を行い、大阪府豊中市で開催された「第12回全国校区・小地域福祉活動サミット」に市内各地区のコミュニティ会長、連合自治会長等20名が参加しました。

「豊中が目指す地域共生社会」をテーマに行われた基調シンポジウムでは、実際に地域で活躍されているボランティアの方々が登壇され、活動の様子や体験談、活動への想いなど、貴重なお話を聞くことができました。

昨年6月の大阪府北部地震では、地震発生からたった4時間で市内の災害時要支援者1万2千人の安否確認を実施したとのお話があり、日頃の活動を通して作られた住民同士のつながりが、非常時においていかに重要であるかを改めて考えさせられました。

女性中心のサロンで行っている手芸を体験
（豊島地区）

■活動の様子を体験

二日目は、市内の豊島地区と野田地区の2カ所のサロンを訪問し、運営ボランティアの方々と交流しました。

どちらの地区でも、運営の大変さや高齢化による次の担い手不足等の課題を抱えながらも、楽しみながら熱意を持って活動されていました。

県内社協・実践研究大会

日頃の実践を振り返り、さらなる実践へ

1月22日（火）、各社協での「ニーズ対応型社協」に向けた取り組みを発表する、実践研究大会が開催されました。県内外社協職員約90名のほか、民生委員児童委員も参加しました。

丸亀市社協からは、相談支援課の横山課長が**「総合相談体制への取り組み」**について発表を行いました。

大会の最後には、日本地域福祉研究所の大橋謙策理事長より総括講演があり、これからの地域福祉の推進のためには、「待ちの姿勢」ではなく、積極的に「アウトリーチ」をすることで、潜在的なニーズを掘り起こすことが重要であるとのお言葉をいただきました。

総合相談体制への取り組みの成果・効果

■多様な相談を受け止める体制

相談窓口の一本化により、本会の相談事業同士を利用者の状況に応じて柔軟につなぐなど、利用者のニーズに最も合った支援を提案できる体制になりました。

■おもいやりネット丸亀の輪

今まで接点のなかった福祉施設と民生委員、社協がつながることで、地域ニーズの把握や地域との交流が広がりつつあります。

育児用品貸出事業

社協では、市の委託を受け、乳幼児の保護者等に育児用品を貸し出しています。育児用品の貸し出すことで、次代を担う丸亀の子どもたちの健やかな成長をサポートするとともに、子育てにかかる経済的な負担軽減を図り、子育て家庭の支援を行うことを目的としています。

平成28年4月の事業開始から、延べ千名を超える方が利用しています。

「育児用品は、子どもの成長に合わせて一定期間だけ使用するものが多いので、レンタルできて、収納場所にも困らず、経済的にも大変助かります」との声をたくさんいただいています。

育児用品をお譲りください

育児用品整備状況

貸出用品	全体数	在庫数（2月1日現在）
ベビーベッド	78	8
チャイルドシート	269	15
ジュニアシート	141	55
ベビーカー	161	29
ゲートサークル	61	7
ベビーバス	52	20
ベビーチェアー	59	19
そ の 他	209	49
合　　計	**1,030**	**202**

※数値は丸亀・飯山・綾歌センターでの合計です。
ＨＰで在庫情報の確認ができます。（月一回更新）

リユース（寄付）については市民の皆さんからのご寄付や、クリントピア丸亀と連携し、活用可能な育児用品の確保に努めています。

※ジュニアシートは在庫有り

ひまわり日記 8

今回の担当　地域福祉課

2月16日、丸亀市生涯学習センターにおいて、「見守りネット講演会（丸亀市福祉協力員研修会）」を行いました。住民流福祉総合研究所の木原先生をお招きし、住民視点での福祉のあり方を分かりやすく解説していただきました。

私たち社協職員は「福祉の専門職」として地域福祉活動推進に取り組んでいますが、理想の福祉と地域の現実には大きな隔たりがある事を常に感じています。

しかしながら、「社協職員も地域住民」であるということを忘れてしまいがちです。地域で起こっていることには常に敏感でありたいものです。

本年度も残りわずか、自治会長としても、誠心誠意努めさせていただきます。

「企業連携型巡回見守り活動事業」連絡会

現在18企業と協定しています。これからの地域の「見守り活動」のあり方について、意見交換を行います。

日　時　3月4日（月）13:30～14:40
場　所　ひまわりセンター4階研修会議室１・２

本人の意思を尊重した支援をめざして（成年後見制度講演会）

自己決定に至るまでのプロセスを支援するという新しい支援の在り方（意思決定支援）について学びます。

日　時　3月7日（木）13:30～15:00　**参加無料**
場　所　ひまわりセンター4階研修会議室１・２
講　師　美作大学生活科学部社会福祉学科　永見芳子氏